

<テーマ>

日臨技施設認証対策！生理検査の内部精度管理

新しいスタンダードへ向けて

月刊『Medical Technology』2025 年 2 月号特集企画コラボ企画

<ねらい>

生理検査の外部精度管理はフォトサーベイが主体であり、内部精度管理はできている施設とそうでない施設の差が大きいのが現状です。要因として①法令（医療法など）の管理外である、②術者の技術差が生じやすい、③生体を直接対象とするため生物（生理）学的個体差を考慮する必要がある、④設備・環境により行える範囲に差異がある、⑤検体検査に比べ内部精度管理に対する必要性の理解が乏しい、といったことが挙げられます。

内部精度管理を適切に実施して精度の高い検査データを出すためには、自施設に合ったルール設定と、その継続が重要です。内部精度管理を行う標準物質や機器（保守管理用機器）が整っていることが理想ではあるが、そうでない場合でも、代替となる手段や工夫によって対処できることがあります。

今回、登壇する何人かは、日臨技の品質保証施設認証制度で生理検査を担当している審査員です。審査をしている中で、間違った解釈で内部精度管理を実践している施設を目の当たりにして、「何とかしなければいけない！」と強く感じています。多くの施設で日臨技の品質保証施設認証制度を活用していただき、生理検査における品質と精度の底上げを図るのが我々の使命と感じております。本企画では、生理検査の精度管理に悩んでいる施設のターニングポイントになる実践的な内容をお届けできればと思います。

司会 滝野 寿（NPO 法人つくば臨床検査教育・研究センター）

<講演内容>

1. 心電計と脳波計の内部精度管理

演者：植松 明和（大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科准教授）

2. 「ファントムが無いから出来ない」は言い訳！超音波の内部精度管理の裏技

演者：中島 英樹（筑波大学附属病院 検査部）

3. 呼吸機能検査の精度管理 ―「機器」と「技師」の両輪で築く品質保証―

演者：中出 祐介（金沢大学附属病院 検査部）

4. 標準物質が無い検査の内部精度管理について ―耳鼻科領域検査を中心に―

演者：西村 とき子（日本適合性認定協会 LAB 認定ユニット BB・生理検査マネジャー）